



226

高校生向け

年組

老朽化プール不使用16%

県内小中学校



老朽化し今は使われなくなったプール
11月7日、大田原市宇田川小

17市町、修繕か校外か

県内市町の小中学校で、自校プールがあるのに、使っていない学校が約16%の69校あることが17日までに、下野新聞社の取材で分かった。利用停止しているプールを持つのは17市町に上る。築50年前後のプールも多く老朽化が主因で、担当者の多くは「他のプールも、いつ壊れても不思議はない」と指摘。近年は水泳授業で民間プールなどを使うケースが増え、修繕して使うかどうかの判断が各自自治体に求められている。（山崎一洋、草場和樹）3面に関連記事

小中学校プールは、1964年の東京五輪開催による「スポーツ熱」の高まりを受け、全国的に60年代から急速に整備されたとされる。県内の各市町教委によると、市町立小中学校は計約480校。早い時期から民間プールを活用してきた市町もありプールを持つのは435校で、このうち利用を停止しているのは69校

市町	小学校	中学校	計
宇都宮市(94)	1	0	1
足利市(33)	6	0	6
栃木市(41)	0	1	1
野市(24)	1	0	1
沼市(28)	6	3	9
日光市(19)	3	2	5
小山市(34)	2	0	2
大田原市(25)	4	1	5
板市(7)	3	1	4
那須塩原市(24)	16	6	22
さくら市(8)	1	1	2
那須烏山市(2)	0	0	0
下野市(12)	0	0	0
上三川町(10)	1	0	1
益子町(6)	0	0	0
子木町(4)	1	0	1
茂木町(4)	0	1	1
賀生町(10)	0	0	0
生木町(7)	3	0	3
谷町(2)	0	0	0
高根沢町(6)	1	0	1
那須町(8)	2	0	2
那珂川町(4)	3	1	4
計435校	54	15	69

※かっこ内はプール施設のある学校数。義務教育学校、小中併設校は便宜的に小学校がカウントされた。二つのプールがなかった場合は「プール数」に含めない

プールは当初から民間に委託するケースも少なくない。大田原市のプールは平均築年数は約43年。4校が利用停止に伴い2021、22年度から、校外プールを使い始めた。野木町は23、24年度で3校が利用停止。茂木町は本年度、1校で水泳授業を始めようとしたところ、プールに破損が見つかった。プールの不具合の大半は経年劣化で、プール槽、配管のひび割れによる水漏れが目立ち、児童生徒がけがをする恐れもある。プール整備時から使用してきた水のろ過装置が故障するケースも多い。プールの修繕費用は多額

設問

1面の記事に照らして、県内の小中学校の自校プールの状況について、【1】【2】の正誤を○×で解答してください。

【1】

- ①利用停止となっているプールは小学校より中学校の方が多い
- ②宇都宮市の小中学校はすべてのプールが利用されている
- ③プールの利用停止が0と回答している市町村はない
- ④小中学校の全校にプールのない市町村もある

【2】

- ①プールの不具合の大半は人為的破損である
- ②市町村によっては平均築年数が40年を超えるプールもある
- ③プールの不具合の内容について、水漏れはほとんどない
- ④ある市町村の試算ではプールの造り替えに億単位の費用がかかると指摘されている

【3】QRコードを使用して同日付3面の記事を参考に、水泳授業の外部委託について「教員の負担軽減」の観点から利点を50～100字程度で教えてください。

【4】【3】と同様に、水泳授業の外部委託について、児童生徒の「泳力向上」の観点から利点を

になることが多い。壬生町が22年度に一つを全面改修した費用は約3千万円。ろ過装置交換も「1台500万円前後が必要」（大田原市とされる。造り替えれば億単位」との指摘もある。

しかも「このプールもいつ使えなくなってもおかしくない」（矢板市）状況だ。各市町は比較的费用が少なくて済めば、修繕し使い続ける考え。一方、プールの活用が夏場に限定されていることもあり、多額の費用が想定される場合はスポーツクラブや近隣校プール、公営プールの利用を検討する傾向にあるようだ。

那須塩原市は老朽化を見越し、中学校2校を除き民間・市営プールで校外授業を行っている。ただ、児童生徒が多いと外部プールの受け皿がないこともある。宇都宮市の担当者は「改修して使い続けるとき、改修を見送り民間プールなどを使うときの判断について、コストや運営面などを総合的に見極めなければならぬ。少子化も判断材料」と説明した。

50～100字程度で教えてください。

【5】あなたの住む市町村を対象に、今後の小中学校の水泳授業はどのようにしたらよいと考えますか。

【3】【4】で解答した内容と、自分の地域の課題を踏まえて自由に論じてください。（時数制限なし）

※参考 下野新聞2024年8月18日第3面「水泳授業外部委託広まる」

